

私保連しまね

No.54

子どもの育ちを支える
～保育リボン～



Contents

- 会長、副会長振り返り・・・2
- キャリア先生の紹介・・・6
- こんな活動やってます・・・4
- 令和4年度各部活動報告・・・8



続けよう!
SDGs活動!

SDG s活動の一環として堆肥づくりをしています。「土混ぜよう」と誰かが言うと「野菜くずもらってくる」「スコップ持ってくる」と子どもたちは準備を始めます。毎日保育園で出る野菜くずを給食室からもらってきて混ぜること2か月間。熟成した堆肥を見て「いっぱい入れたのに野菜くずがない」と不思議そう。その不思議をみんなで調べたり、堆肥を使ってカブや花を育てたりしました。未来のために子どもたちができるSDG s活動を続けていきたいです。

波佐保育園 園長 白川 直美



<http://www.sweet-house.jp/shimane-shihoren>



任期を終えるにあたって

島根県私立保育連盟 会長

川上雅文(荒茅保育園)

様々な保育活動が制限され、園の諸行事も中止や延期することが度々あったこの2年間でした。県私保連の活動も総会は2年とも開けず、研修会なども制約がありました。それでも、予対部・青年部の方々のおかげで、キャリアアップ他それぞれの研修会を実施できたことは感謝に堪えません。研修を終えられた先生方の充実した表情を見ることができ、会長としてほっとしました。また、広報部・調査部の先生方にもご協力をいただき、充実した活動ができたと自負しております。

予対部の皆さんとは、制度や予算などの改善、

保育職員の資質向上につながるよう県や

国へ出かけ、陳情などの「予算対策

運動」を精一杯務めました。ただ、

制度や予算などの改善、特に国

を挙げて取り組んでいる少子化

対策や人口減少地域での保育

所の経営基盤強化などについ

て今後も要望し続けていかな

ければならない課題だと痛感

しています。

2年間ありがとうございましたま

した。





任期を振り返って

副会長(認) こども園ひろせ保育園

舟谷 法子

待機児童問題は、既にピークアウトし、島根県に限らず全国的にも卒園していく園児より入園する園児が確実に少なくなる状況となり、少子化は加速度的に進んでいると言えます。

そういった中で、よりいっそう利用者の方、地域の方、行政からも信頼いただけるよう、ニーズに柔軟に対応しながら地域社会にとって必要なインフラであり続けるよう努めてまいりたいと思います。

先生方のご協力のおかげで事業運営が出来ましたこと、厚くお礼を申し上げます。



副会長(認) こども園あゆみ保育園

海原 泉

今期もコロナウイルス感染症の対応に追われた2年でした。マスクの着用や手指の消毒が当たり前になり、保育園での生活も行事も見直しを行いながら過ごしてきたことは言うまでもありません。コロナ禍で大人がどんなに疲弊していても子ども達は健やかに、たくましく育っている」と広報誌を通して感じる事が出来ました。また、今期よりカラー印刷で届けられるようになり、より雰囲気の伝わる記事となったと思います。保育園の紹介やフレッシュ先生、キャリア先生の紹介等、たくさんの方々に協力いただきありがとうございます。

今後ともたくさんの方々の皆様に楽しんでいただける広報誌作りにご協力をお願いし、ご挨拶とさせていただきます。

副会長 おぐに保育園

山崎 央輝

会議や研修はリモート開催を行うなど様々なネット環境に取り組む年となり、ICTの導入によりスマートになった反面、出来なくなったことも多く感じられました。少子化や複合的な要因により定員変更を余儀なくされた施設も多くあり、ロシアウクライナ戦争に端を発した物価高騰にも悩まされました。

そのような時代であっても保育施設の役割は保護者の子育て支援を主とし、温もりを感じる保育が提供できるよう施設の先頭に立ち常に笑顔でいたいと思いました。月並みな言葉ですが、先が見えない状況だからこそみんなで協力し合い前を向き打開策を見出しながら進む必要があるのではないかと感じました。2年間という短い期間ではありましたが、皆様のご協力のもと事業運営に邁進できたことはとても嬉しく思います。ありがとうございました。

地域とのつながりの中で広がる活動

シオンこひつじ保育園
園長 中道 順

シオンこひつじ保育園では、タケノコほり、サツマイモほり、焼き芋体験等自然に触れることを通して、食への興味を育てたり、地域とのつながりを意識する活動を大切にしています。これらの活動のほとんどが地域の方のアドバイスやご協力を通して始まった活動です。

きっかけは開園当初の5年前に職員が少しでも子ども達に土に触れ、野菜を育てる体験をさせたいという思いで園庭に畑を作っていたところ、道を歩いていた近所の方が声をかけてくださり、畑の作り方の指導を一から職員にしてくださったことから始まります。

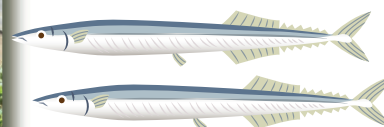
今年度は近所の方の指導を受けながら園庭でスイカとメロンを作ることに初挑戦。予想外にたくさんスイカやメロンができ収穫を楽しみました。子ども達の目の前でスイカやメロンを切ると「わーすごい！」と大歓声が上がっていましたよ。

また、秋には5歳児が近所の畑で焼き芋を体験させていただきました。たき火を見る機会もあまりない子ども達は焼けるまでの様子を観察したり、熱々の焼き芋を自分でむいて食べる貴重な体験となったのではないかと思います。

そして、花の日という園の行事の際には近所の方をお招きし、花束とカードをお渡しして、感謝の気持ちを伝えることができました。

今後も地域の方とのつながりを大切にしつつ保育を実践していきたいと思っています。





やっ
こ
ま
す

芋煮会&さんまパーティー

敬川保育所
所長 植田 智子

敬川保育所は、江津市の西部にあり、現在0~5歳児79名の子どもたちが通っています。近くには「敬川」が流れており、春には川沿いの桜が満開になり、みんなを楽しませてくれます。

当保育所では『楽しく食べる体験を重ね、「生きる力」の基礎を培う』を食育の目標とし、食育活動に取り組んでいます。園の近くの畑では毎年季節の野菜を栽培し、夏にはピーマンやかぼちゃを使って“カレーパーティー”を、冬には干し大根を作ります。

この秋は、収穫したさつまいもを使って“芋煮会&さんまパーティー”を行いました。3、4、5歳児がそれぞれ材料を分担し、皮むきや具材を切ります。園庭にはかまどを用意して、大きな鍋で汁を作ります。年長さんはかまどに薪を焼くべたり、汁の味見をしたりと先生のお手伝いをしてくれます。そばで秋の味覚さんまを焼くので「お腹すいたよ〜」「はやく食べたい」と、おいしい匂いに誘われて子どもたちが集まってきます。

この日、できあがった汁とさんまを青空の下で食べるといういつもと違い、また一段とおいしかったようです。秋の味覚いっぱいの日、子どもたちの心もお腹も満たされたようでした。

これからもいろいろな食体験を通して、心も体も大きくたくましく、そして「食べることの大好きな子」に育ってほしいと願っています。

キャリア先生の紹介

第1ブロック

安来市／(認)城谷こども園

大江 則子 先生

城谷こども園のキャリア先生を紹介します。保育歴22年になる主任保育士の大江先生は笑顔がとても素敵で保育等でリーダー的存在です。

周りの事に対してもよく気が付き責任感も強く、親身になって同僚や後輩の相談事により、頼れるお姉さん役として慕われています。

子どもの目線から見た時もすべての思いをしっかり受け止めてくれる「お母さん」のような存在でもあると思います。

保育はもちろんですが、保護者さんの悩みや相談事にも一人一人丁寧に寄り添った対応をされるのでお母さん方からの信頼も厚い先生です。

また、城谷こども園のことをなんでも知っておられるので、私たちも頼りにしています。

ご家庭では、2児のお母さんでもある大江先生、子育てと仕事の両立はとても大変だと思いますが、これからも、子ども達の健やかな成長を願って一緒に頑張りましょう。



自身も子育て中なので保護者の方とも会話が弾みます。
元気いっぱいのお子さんに囲まれて日々の成長が嬉しく、楽しい現場で保育させていただいています。

(園長 谷川 由美)

第2ブロック

出雲市／あい川保育園

石田 美和 先生

あい川保育園のキャリア先生、石田美和先生を紹介します。「みわ先生」は(保育園では両親につけてもらった名前を大切にするために、先生たちも名前と呼んでいます)底抜けに明るく、いつも元気いっぱい笑顔がトレードマークの保育士です。

穏やかな小春日和の日はもちろんの事、暑くてたくさん汗をかく夏でも、吹き飛ばされそうなほど木枯らしの吹く季節でも、雪が降ってどんなに寒い冬も、子どもたちのために、積極的に戸外に連れ出して遊んでくれています。これは当たり前前で、誰にも真似できない彼女のストロングポイントです。

また、食育に関しても関心が高く、保育園で行っている合鴨を使った合鴨農法で作る「お米づくり」や畑で沢山の「野菜を育てる」ことをしています。どんなに泥だらけになってもへっちゃらで、子どもたちとクッキングをして食べる楽しみを共有しています。お米作りでの合鴨を育てる過程では「いのちは繋がっている」「自分のいのち、他人のいのちを大事にする」ことを、実践を通して子どもたちに伝えてくれています。食が細かった子どもたちも食べることが大好きになり、彼女のクラスは、食への興味関心がいつも高いです。

現在のコロナ禍において、活動が非極的になりがちですが、正しい知識を持ち感染症を過度に恐れず、物事を前向きに捉えることができる数少ない保育士のひとりです。子どもたちの成長の中で今しかできないかけがえのない時間を大切にしてくれる頼もしいみわ先生です！

(園長 間賀部 亨)



子どもたちの笑顔や元気パワーを源として、毎日元気いっぱい楽しみながら頑張りたいと思います！



第3ブロック

大田市／(認)あけぼのこども園

月森 優二 先生

あけぼのこども園のムードメーカー、保育士12年目の月森優二先生を紹介します。

趣味はバレーボールに野球と体を動かすことが大好きな先生は、子どもたちとあそぶ時も常に全力！！いつも楽しませてくれる先生は子どもたち

から「ゆうじせんせ〜い」と呼ばれ、とても親しまれています。

そして名前の通り「優しい心の持ち主」でもあり、些細なことにもよく気づき、女性の苦手な力仕事も率先して取り組み、いつも先生たちをフォローしてくれています。おしゃべり上手なので、時には笑いを提供したりと職場の雰囲気を和ませてくれたりしていますよ！そんなゆうじ先生はまさに、園のモットーでもある「あかるく・たのしく・げんきよく」にピッタリの存在です！！



これからも笑顔を絶やさず、お互いに助け合いながら一緒に保育士という仕事を楽しんでいきましょう♪ ゆうじ先生ならではの大きな心で、子どもたちを優しく包み込む保育に期待していますよ。

(主任保育士 廣田 春奈)



子どもたち一人ひとりと職員一人ひとりが笑顔に毎日過ごせるように、自分自身の役割を考えてこれからも頑張ります！！

第4ブロック

浜田市／周布保育園

中上 祐美子 先生

保育士の経歴は二十年以上ある中で、当園では令和五年度で十二年目を迎える中上祐美子先生を紹介します。

保育士が少ないせいもあり、四・五歳児混合クラスの担任を六年連続でお願いしています。年長児にもなると十人十色の性格がよりいっそう際立ち始め、やんちゃな子が多い年や障がいのある子も含めて受け持つ年があるなど、何をするにも気苦労が多かったと思います。でも決してめげることではなく、最後まで辛抱強く真摯に子どもたちと向き合い、これまでたくさんの子どもたちを小学校に送り出してきました。

普通段の保育では、折り紙の本の中から子どもたちが興味を持った題材を選び、丁寧な指導を積み重ねた結果、子どもたちに折り紙の楽しさが伝わったようです。自由時間になると、折り紙の本を子どもたちが自主的に出してきては、個々に難しい折り方に挑戦したり、先生のアドバイスを参考にしながら、どんどん新しい作品に仕上げたりと、徐々に興味を持ち始める子が増えていきました。時には出来上がった作品を友だち同士で見せ合ってお互いに競い合ったり、家に持ち帰って保護者の方と一緒に楽しんだりするなど、その活動は今もお続いています。



派手なパフォーマンスをするタイプではなく、おおらかに、そして優しく包み込んでくれるような独特の雰囲気があり、子どもたちは安心して毎日を過ごしています。何事に対しても真面目に、そして地道に取り組む姿勢を貫く中上先生の活躍を、これからも大いに期待しています。

(主任保育士 下岡 由貴子)

年長児クラスは、園生活を締め括る最後の年で責任重大ですが、子どもたちの笑顔に支えられながら日々頑張っています。



予算対策部 令和4年度活動報告

部長 板木 厚典

●全国私立保育連盟予算対策会議

令和4年 6月 9日(木) 令和4年度第1回予算対策会議
 令和4年10月20日(木) 令和4年度第2回予算対策会議

●島根県保育三団体

令和4年 7月11日(月) 第1回 代表者会議
 令和4年 8月24日(水) 県子ども・子育て支援課との意見交換会
 (知事への要望事項等事前協議)
 令和4年 9月 8日(木) 県子ども・子育て支援課との緊急WEB協議
 令和4年 9月30日(金) 文教厚生議員連盟総会
 令和4年 9月30日(金) 保健・医療・福祉部会
 令和4年10月12日(水) 陳情要望活動
 令和4年10月19日～10月31日「電力・ガス等の価格高騰状況調査」実施

今年度も会員皆様のご意見をいただき、人口減少及び少子化への対策、小規模保育所の経営基盤強化、保育の質の担保に関わる最低基準の改善、気になる子の就学時の連携体制構築などを、国、県への要望として三団体へ出させていただきました。

●予算対策部

令和4年(公社)全国私立保育連盟 国に対する請願署名・カンパ運動
 令和4年 8月17日付 島根私保連加盟施設宛 文書送付
 令和4年 8月19日付 保護者宛 文書
 令和4年10月 1日付 全私保連へ署名用紙送付
 令和4年10月 4日付 全私保連へ令和4年度 カンパ金振込

請願署名 15,283名
 カンパ金 835,884円



保育関係者の皆様、保護者の皆様に多数のご協力をいただきました。
 いただいた署名は10月1日付けで全私保連へ送付、カンパ金は470,000円を全私保連へ納入、残額365,884円を島根私保連予算対策部活動費として充当させていただきました。ご協力ありがとうございました。

●島根県選出国会議員への要望内容説明

令和4年 6月 9日(木) 議員会館訪問
 令和4年10月20日(木) 議員会館訪問
 細田博之衆議院議員 高見康裕衆議院議員 高階恵美子衆議院議員
 青木一彦参議院議員 舞立昇治参議院議員 三浦靖参議院議員

島根県選出の国会議員の皆様へ県内の保育情勢および今年度の要望について説明を行いました。10月20日の議員会館訪問時には、高階恵美子衆議院議員と初めて面会させていただきました。

要望を行うにあたって、隣県との比較などのデータを集めることも有効である等のご助言をいただきました。

●令和4年11月10日(木) 自由民主党島根県連政調会主催「物価高騰対策にかかる意見聴取会」

今年度は急激な物価高騰対策にかかる意見聴取会が開催され、現状を伝え、今後さらに予想される物価高についてお話をさせていただきました。

調査部 令和4年度活動報告

部長 植田 智子

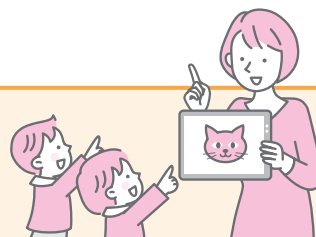
今年度、下記の内容で調査を行いました。

「各保育施設におけるICT導入の現況調査」

対象：島根私立保育連盟加盟施設

期間：令和4年6月10日～6月30日

※調査内容については、島根私保連のホームページに掲載(回答率74.1%)



業務改善のため、ICT化の導入が活性化されてきました。数年が経過し、アンケートを実施する中で各施設の状況、効果、課題を知ることができました。

ICTの導入に至るには、費用面、設備面、職員の技術面など課題もありますが、導入した保育施設のほとんどが“業務効率化につながっている”という意見でした。

保育現場で先生方は、忙しい日々を送っています。業務の効率化がすすみ、少しでも時間の余裕ができ、子どもたちとしっかり関わる時間が増えていけばと思います。

会員の皆様には、お忙しい中、アンケート調査にご協力いただきありがとうございました。調査結果が少しでも各施設にお役に立てば幸いです。

最後にこの2年間、顧問の山崎先生にご助言いただき、副部長ののぎこども園の小松先生と一緒に調査活動に取り組んできました。至らない点もあったかと思いますが、私自身学ぶことも多く、よい経験になりました。ありがとうございました。

青年部 令和4年度活動報告

部長 岩倉 義光

平素から青年部の活動にご理解とご協力を賜りありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症の影響により、過去2ヵ年度においては事業を中止せざるを得ませんでしたが、この度は2年ぶりにパルメイト出雲にて全体研修会を開催いたしました。

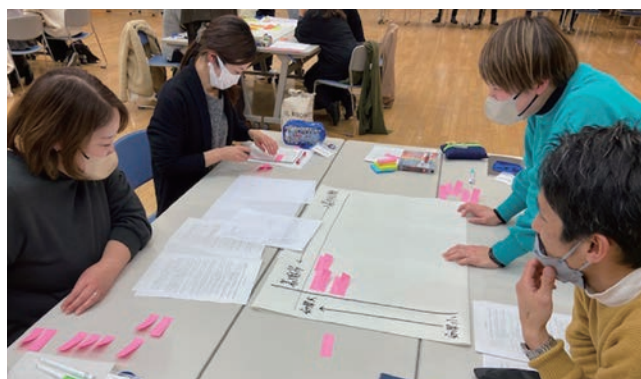
島根大学 大学院教育学研究科 原 広治 教授をご講師にお招きし、若手職員の育成を担当しておられる職員を対象に『若手職員の育成に対して願うことと思うこと』と題しご講演をいただきました感染拡大防止の為に、定員を50名と設定しておりましたが、第8波の影響を受け当日出席者は19名と小規模な研修会となりました。少ない人数ではありましたが、大人数では作り出すことの出来ない密なコミュニケーションを取ることができ、グループ毎に議論を深め意見を交わしておられました。

参加者同士の自己紹介からコミュニケーションを図り、各グループ内で緊張した空気を和らげることから始まり、若手職員に対して思うことをプラスの面・マイナスの面の両方から話し合い、若手職員達にどのように関わっていけば良いか、「若手に役割を与えて自信をつけさせる」、「若手を認めてあげる」といった、参加者自らが答えを探り、導き出している様子がうかがえました。

この度の全体研修会では、若手職員の育成を担う先生方にとって、自分達も若手職員と共に育ちあうことを考える充実した時間となったと確信しています。青年部では、先生方の保育へと向かう姿勢がより高まる事を信じ、今後も役員の先生方と共に盛り上げ共に成長出来る事業を計画していきたいと思います。

末筆ではございますが、青年部部长と島根私保連事務局を兼任させていただき、今年度も加盟施設の先生方に支えていただきました。島根私保連会員の皆様のご理解とご協力を今後も賜りますようお願い申し上げます、令和4年度の活動報告とさせていただきます。ありがとうございました。

青年部部长
認定こども園みどり保育園
園長 岩倉 善光



研修部 令和4年度活動報告

部長 須谷 紀子

◎キャリアアップ研修 講師：島根大学大学院教育学研究科教職大学院 教授 原 広治 氏

会 場：パルメイト出雲

感染症対策を万全に、演習を主にグループ討議、KJ法など熱心に取り組み、自身の保育を見つめることで保育観の気づきにつながりました。中でも障がい児のお子さん子育てされた保護者の実体験を聴講し、心に響いたとの感想をいただきました。

○障がい児保育研修

令和4年8月4日(木)～8月6日(土)

参加者：47名 修了認定：45名

○保護者支援・子育て支援研修

令和4年8月25日(木)～8月27日(土)

参加者：43名 修了認定：41名

◎会計研修

令和4年10月18日(火)

於ニューウエルシティ出雲 参加者：49名

講 師：(株)幼保経営サービス

取締役営業部長 管野 哲 氏

コロナ禍により二年ぶりの開催となりました。テキストにそって丁寧に解説され法人運営の注意事項が確認できました。現在物価高騰による補助金の事例など現況把握と会計処理上の重要事項説明を限られた時間内での研修でした。

◎研修会

情勢報告・全私保連の取組みについて

第1回 令和4年5月31日(火) Web開催

講 師：(公社)全私保連 副会長 塚本 秀一 氏

参加者：45アカウント



第2回 令和5年1月27日(金) 於パルメイト出雲 ハイブリット形式

講 師：(公社)全私保連 副会長 塚本 秀一 氏

参加者：38アカウント 会場参加者：12名

年二回、制度の動向に合わせて全私保連の取組みについて近況をご教授いただきました。人口減少に伴い待機児童も着実に減少している現状から、今後の保育運営に及ぼす影響に対処すべき課題、令和5年度保育関係予算案の主な内容が把握できました。

広報部 令和4年度活動報告

部長 青木 豊美

広報部では、令和3年9月51号、令和4年3月52号、令和4年9月53号、令和5年3月54号の4号を発行いたしました。

各号、各園(所)の特色ある保育を知ることが出来、元気をもらったり温かい気持ちになったりしました。

発行につきまして、たくさんの皆様のご協力をいただいたことを心より感謝申し上げます。

編集後記



「私保連しまね54号」をお届けします。

先日、10年に一度の寒波がやって来ました。雪の被害はなかったでしょうか？急に来る寒波に大人はてんてこ舞いですが、子ども達は大喜び。園庭に雪だるまがたくさん並んだのではないのでしょうか？

さて、広報を担当して2年が経ちました。何気なく目を通していた広報誌も、沢山の方のご協力によりできていた事を痛感し、より深い繋がりを感じました。お忙しい中、執筆等にご協力を頂いた先生方に心より感謝申し上げます。

コロナ感染症対策も次第に緩和されていきますが、心配は絶えませんね。今年度の締めくくりと、新年度に向かう準備と、より忙しくなる時期となります。皆様、どうぞご自愛下さい。

(仁摩保育園 高橋 祐子)

園および 園児を さまざまなリスクから サポートします



園経営には、さまざまなリスクが伴います。
公益社団法人全国私立保育連盟指定代理店である
(有)ゼンポでは、園経営はもちろんのこと、
園児をとりまくリスクに関する各種保険を取り扱っております。

ほいくのほけん・ こどもえんのほけん

「園賠償責任保険」「園児団体傷害保険
(学校契約団体傷害保険特約付帯傷害保険)」
「新型コロナウイルス等対応費用補償特約
(2021年4月以降)」など、
園経営における従来のリスクに加えて
新型コロナウイルス感染症にも対応する保険を
ご用意しております。

やくいんのほけん

社会福祉法人の役員の業務遂行に関する
賠償リスクとレピュテーション(風評被害)
リスクに関する保険となります。

上記以外にも、「学童保育」などの、保険を取り扱っております。
ご照会は、下記連絡先にどうぞ。

〈連絡先〉

公益社団法人全国私立保育連盟指定・東京海上日動火災保険株式会社代理店

有限会社ゼンポ

〒111-0051 東京都台東区蔵前4-11-10 全国保育会館内

TEL 03-3865-3881 FAX 03-3865-2806

〈引受保険会社〉

東京海上日動火災保険株式会社

担当課：公務第二部 文教公務室 TEL：03-3515-4134

このご案内は施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険・学校契約団体傷害保険特約付帯傷害保険・会社役員賠償責任保険・レピュテーション費用保険(レピュテーション費用特約条項付 費用・利益保険)の概要についてご紹介したものです。保険の内容は本保険制度のパンフレットをご覧ください。詳細は契約者である公益社団法人全国私立保育連盟にお渡しする保険約款によりますが、ご不明点がありましたら、取扱代理店または保険会社までお問い合わせください。また、ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。



保育リボン

わたしたちは子どもの育ちを支え、
みんなの笑顔があふれる社会を目指します。
(全国私立保育連盟)



私保連しまねNo.54

発行日／令和5年(2023)3月
発行者／会長 川上 雅文(荒茅保育園)

発行所／島根県私立保育連盟
編集者／青木 豊美・高橋 祐子(広報部)

